

活動情報

問合せ先

TEL 0948(23)4154

FAX 0948(29)4866

e-mail iizuka-dlc@pref.fukuoka.lg.jp

園芸畜産課 果樹係



第28号



ぶどう部会の園地流動化検討会を開催 ーブドウ産地を継続していくためにー

2月6日、市町やJA、普及指導センターで組織する直鞍地域果樹産地協議会は、初めてブドウ生産者を交えて園地流動化検討会を開催しました。

JA直鞍ぶどう部会は、生産者68名、栽培面積62haであり、巨峰栽培では県北一番の産地です。しかし、生産者の高齢化が進み生産者、栽培面積とも減少傾向にあります。

そこで、ブドウ園地を継続し産地を維持していくため、昨年度から全農家に対して園地の5年後の栽培意向調査を実施し、貸出希望や規模拡大の意向を把握してきました。今年度は、貸出または売却希望の生産者から園地の状況や機械・施設の貸出し意向の確認を行い、データベースを作成しました。

今回の検討会では、普及指導センター職員からアンケート調査結果、園地マップ、貸出し園地の報告を行いました。参加者からは、「良い取り組みだ、貸出しを考えている」、「鞍手町では水田だけではなく、ブドウ園地も地域計画への位置づけが始まっている」などの意見が出されました。また、部会として栽培意向調査を毎年実施して園地流動化の仕組みづくりに繋げていくことが確認されました。

普及指導センターは今後も関係機関と連携して、ブドウ産地の維持拡大のため規模拡大希望農家や新規参入者へのスムーズな園地流動化を支援していきます。



園地マップ



園地流動化検討会の様子